

NY マーケットレポート (2014 年 8 月 5 日)

NY 市場では、米 ISM 非製造業景況指数が 2005 年 12 月以来約 8 年半ぶりの高水準となったことや、米製造業受注が市場予想を上回る結果となったことを好感して、ドルが主要通貨に対して堅調な動きとなった。その後、ロシアのプーチン大統領が、報復制裁の用意を政府に令したとの報道や、ポーランド外相が、ロシアはウクライナへの圧力行使もしくは侵攻に備えウクライナ国境沿いに軍部隊を集結させていることを明らかにしたことを受けて、世界経済の先行き懸念が広がり、投資家のリスク回避の動きが強まった。一時、株価は大きく下落し、安全資産とされる円が大半の主要通貨に対して上昇する動きとなり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。

2014/ 8/5 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	102.56	102.63	102.52
EUR/JPY	137.52	137.72	137.45
GBP/JPY	172.85	173.13	172.79
AUD/JPY	95.76	95.80	95.56
EUR/USD	1.3409	1.3425	1.3402

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	102.72	102.55
EUR/JPY	137.57	137.34
GBP/JPY	173.33	172.82
AUD/JPY	95.82	95.68
EUR/USD	1.3411	1.3382

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15320.31	-154.19
ハンセン指数	24648.26	+48.18
上海総合	2219.95	-3.39
韓国総合指数	2066.26	-14.31
豪ASX200	5518.56	-22.31
インドSENSEX指数	25908.01	+184.85
シンガポールST指数	3327.67	+9.27

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6682.48	+4.96
仏CAC40	4232.88	+15.66
独DAX	9189.74	+35.60
ST欧州600	332.10	+0.95
西IBEX35指数	10450.80	-45.40
伊FTSE MIB指数	20052.20	-329.19
南ア 全株指数	51349.11	+109.55

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	102.58	102.93	102.49
EUR/JPY	137.18	137.55	137.08
GBP/JPY	173.17	173.51	173.01
AUD/JPY	95.43	95.77	95.30
NZD/JPY	86.86	87.48	86.73
EUR/USD	1.3374	1.3390	1.3358
AUD/USD	0.9303	0.9319	0.9292

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16429.47	-139.81
S&P500	1920.21	-18.78
NASDAQ	4352.84	-31.05
その他主要株	終値	前日比
カナ トロント総合	15187.71	-27.55
ブラ ボルサ指数	44481.68	-112.98
ブラ ボベスパ指数	56202.10	-414.23

8/6 経済指標スケジュール

08:01 【英】7月BRC店頭価格指数
14:00 【日】6月景気一致CI指数
14:00 【日】6月景気先行CI指数
15:00 【独】6月製造業受注
16:15 【スイス】7月消費者物価指数
17:30 【英】6月鉱工業生産
17:30 【英】6月製造業生産高
20:00 【米】MBA住宅ローン申請指数
21:30 【米】6月貿易収支
21:30 【カナダ】6月国際商品貿易
23:00 【英】7月NIESR GDP予想

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1285.30	-3.60
NY 原油	97.38	-0.91
CMEコーン	367.25	-2.00
CBOT 大豆	1065.75	-13.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.46%	0.47%
3年債	0.90%	0.90%
5年債	1.66%	1.65%
7年債	2.14%	2.14%
10年債	2.48%	2.49%
30年債	3.28%	3.30%

8/6 主要会場・講演・その他予定

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 102.69 ユーロ/円 137.48 ユーロ/ドル 1.3389

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

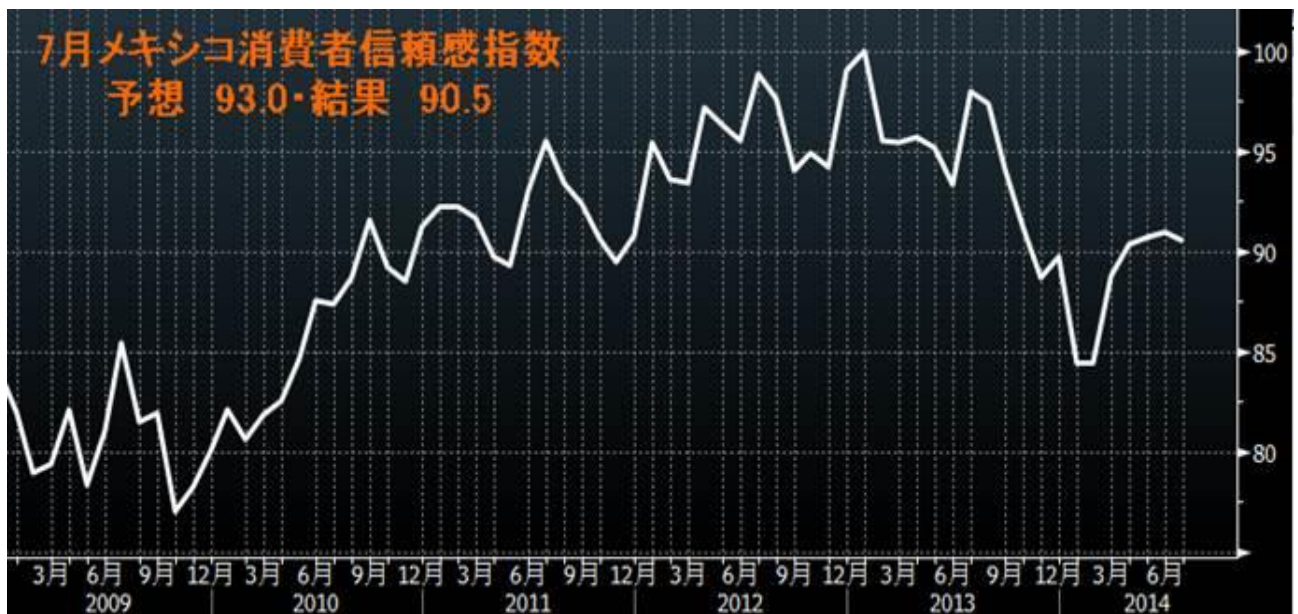
欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6701.10	+23.58	ダウ INDEX FUTURE	16452	-34
仏 CAC40	4239.73	+22.51	S&P500 FUTURE	1926.50	-5.60
独 DAX	9198.37	+44.23	NASDAQ FUTURE	3886.75	-10.00

(出所: SBILM)

22:00

◀ 経済指標の結果 ▶

7月メキシコ消費者信頼感指数 90.5 (予想 93.0・前回 91.0)



(出所: ブルームバーグ)

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、米長期金利の上昇基調を受けてドル買い・円売りがやや優勢となったものの、新規材料に乏しくやや上値の重い動きも見られている。

《 海外の話題 》

インド中銀は、政策金利であるレポレートを予想通り 8.00% に据え置いた。ただ、今年はモンスーンの降雨量が例年を下回る見通しで、食糧価格が上昇するとの懸念が出ていることから、インフレリスクに警戒感を示した。一方で銀行が貸し出しを促進するための措置を公表した。

市中銀行に預金額の一定割合を国債など安全資産で運用することを義務づける法定流動性比率を 0.50% ポイント引き下げ 22.0% とした。満期まで保有する債券比率上限は 0.50% ポイント引き下げ 24.0% とした。リバースレポレートは 7.00% に、現金準備率も 4.00% にそれぞれ据え置いた。

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16506.79	-62.49
ナスダック	4359.72	-24.17

(出所:SBILM)

22 : 45

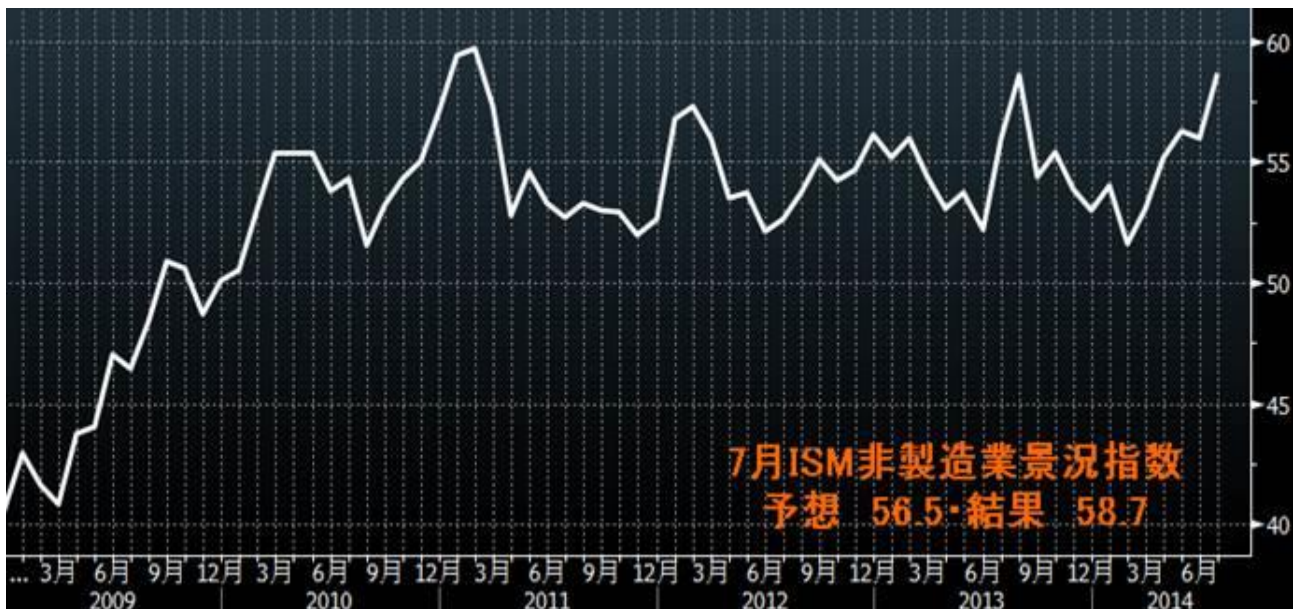
《 経済指標の結果 》

7 月マークイット米国サービス業 PMI 60.8 (予想 60.8・前回 61.0)

23 : 00

《 経済指標の結果 》

7 月 ISM 非製造業景況指数 58.7 (予想 56.5・前回 56.0)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《ISM 非製造業景況指数》

	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
総合指数	58.7	56.0	56.3	55.2	53.1	51.6	54.0
景況指数	62.4	57.5	62.1	60.9	53.4	54.6	56.3
仕入価格	60.9	61.2	61.4	60.8	58.3	53.7	57.1
新規受注	64.9	61.2	60.5	58.2	53.4	51.3	50.9
雇用者数	56.0	54.4	52.4	51.3	53.6	47.5	56.4

23:00

《 経済指標の結果 》

6月米製造業受注指数（前月比） 1.1%（予想 0.6%・前回 -0.5%）



（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ

《製造業新規受注指数》

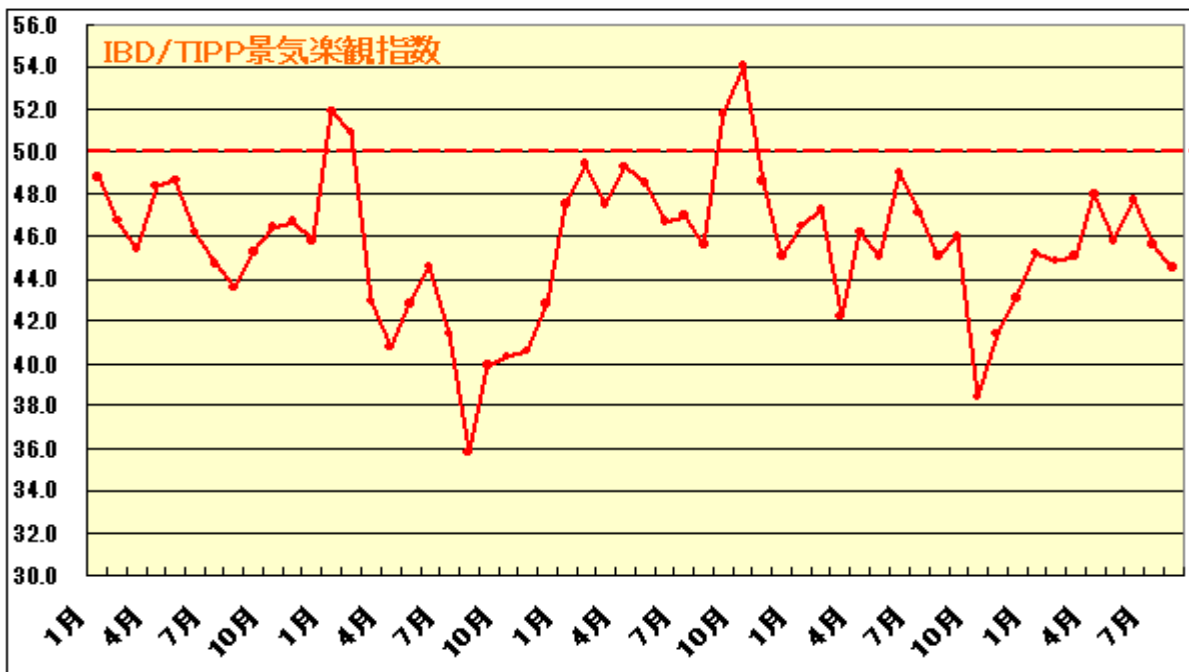
	6月	5月	4月	3月	2月	1月
新規受注	1.1	-0.6	0.8	1.5	1.7	-1.6
輸送機器を除く	1.1	-0.2	0.6	0.8	0.8	0.7
受注残	1.0	0.7	0.9	0.8	0.3	0.0
耐久財	1.7	-0.9	0.9	3.7	2.6	-2.5
輸送機器	1.3	-2.6	1.8	5.2	6.9	-6.9



23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8 月 IBD/TIPP 景気楽観指数 44.5 (予想 47.3・前回 45.6)



指標結果データ

≪ IBD/TIPP 景気楽観指数 ≫

	8月・	7月・	6月・	5月・	4月・	3月・	2月
景気楽観指数・	44.5・	45.6・	47.7・	45.8・	48.0・	45.1・	44.9
半年先の景気先行	41.8・	41.6・	45.6・	43.1・	45.7・	42.8・	43.8
資金繰り見通し・	54.3・	54.7・	56.8・	55.5・	58.2・	54.4・	54.1
政府の政策信頼度	37.5・	40.4・	40.6・	38.9・	40.2・	38.2・	36.8

23 : 30

≪ NY 株式市場 序盤 ≫

序盤の株式市場は、中国のサービス業関連の経済指標が不振だったことや、東京での株価下落が嫌気され、主要株価は売りが優勢となった。ただ、米経済指標が市場予想を上回る結果となったことを受けて、下げ幅を縮小する動きとなっている。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比 95 ドル高まで上昇したものの、その後は下げ幅を縮小する動きとなっている。

0 : 10

ブーテン大統領は、報復制裁の用意を政府に命令～RIA

≪ 経済指標のポイント ≫

(1) 7月の米 ISM 非製造業総合指数は、市場予想の 56.5 を上回る 58.7 となり、2005 年 12 月以来約 8 年半ぶりの高水準となった。企業活動や新規受注、雇用の伸びが総合指数を押し押し上げた。景気指数は 62.4 (前月 57.5) と 2011 年 2 月以来の高水準、新規受注は 64.9 (61.2) と 2005 年 8 月以来の高水準となった。そして、雇用は 56.0 (54.4) と 6 カ月ぶりの高水準となった。なお、仕入価格は 60.9 (61.2) と前月から低下する結果となった。

(2) 6月の米製造業受注は、前月比+1.1%の 5032 億 3800 万ドルと、市場予想の+0.6%を上回る結果となった。国防関連の資本財や電機・家電の受注が増えたことが全体を押し上げた。また、輸送機器を除く受注は+1.1%となった。

① 耐久財が+1.7%、非耐久財が+0.6%となった。耐久財のうち、輸送機器は+1.3%となり、民間航空機が+8.4%、国防航空機が+11.0%、自動車・同部品は横ばいとなった。また、一次金属は+0.9%、一般機械は+2.9%、電算機・電子製品は+2.9%。電機・家電は+5.5%と、2010 年 11 月以来の大幅な伸び率だった。

② 資本財は+3.8%、国防関連を除く資本財は+3.4%、民間設備投資の先行指標となるコア資本財は+3.3%となった。国防資本財は+6.9%と前月の大幅なマイナスからプラスに転じた。

③ 製造業全体の出荷は+0.5%、受注残高は+1.0%、在庫は+0.3%となった。また、出荷に対する在庫の比率は前月から横ばいの 1.31 となった。

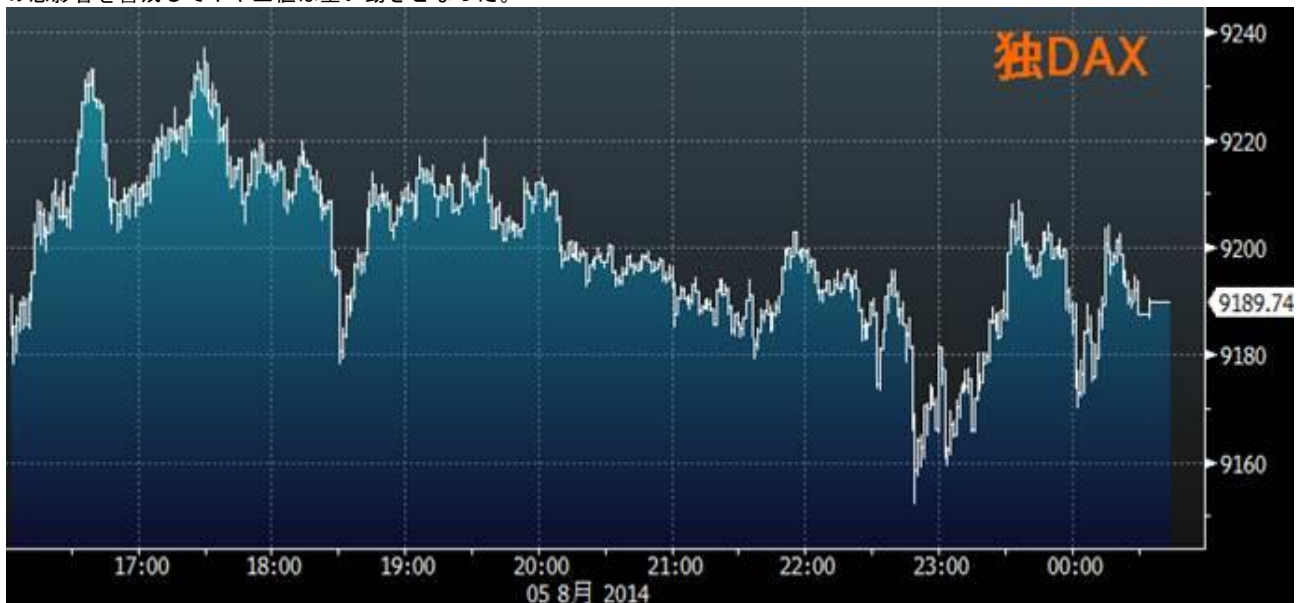
(3) 8月の米 IBD/TIPP 経済楽観指数は 44.5 と前月から 1.1 ポイント低下となり、昨年 12 月以来 8 カ月ぶりの低水準となった。節目の 50 は 22 カ月連続で下回った。半年先の景気見通しは 41.8 (前月 41.6) と前月を上回ったものの、資金繰り 54.3 (54.7)、政府政策の信頼度 37.5 (40.4) は前月を下回る結果となった。IBD/TIPP 指数は、ミシガン大やコンファレンスボードの消費信頼感指数の先行指標として注目される。50 を上回ると楽観的に判断する。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6682.48	+4.96
仏 CAC40	4232.88	+15.66
独 DAX	9189.74	+35.60
ストック欧州 600 指数	332.10	+0.95
ユーロファースト 300 指数	1334.59	+4.47
スペイン IBEX35 指数	10450.80	-45.40
イタリア FTSE MIB 指数	20052.20	-329.19
南ア アフリカ全株指数	51349.11	+109.55

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、欧州企業の業績改善への期待などを背景に買いが優勢となった。ただ、EU の対ロシア追加制裁による経済への悪影響を警戒してやや上値は重い動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16496.61 (-72.67) 、S&P500 1932.44 (-6.55) ナスダック 4368.48 (-15.40)

《 NY 債券市場 ・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、7月のISM非製造業景況指数が市場の予想以上に改善したことで、米景気の堅調な回復が続いているとの見方が広がり、安全資産とされる米国債の売りが先行した。

午前の利回りは、30年債が3.32%（前日3.29%）、10年債が2.51%（2.48%）、7年債が2.17%（2.14%）、5年債が1.68%（1.65%）、3年債が0.92%（0.90%）、2年債が0.48%（0.47%）。

《欧州のポイント》

①トルコのゼイベクチ経済相は、「借り入れコストについての市場の足元の期待は、現在の金利水準よりも低い。政治と経済の安定が理由だ」とし、「期待に沿った形での金利の引き下げが絶対に必要」と市場が期待する水準まで金利を引き下げることが中銀に求めた。7月の消費者物価指数の伸びが年率で9.32%と、目標の5%を大幅に上回り、中銀は年末のインフレ見通しを7.6%としたことに関して、「年末のインフレ目標の引き上げは受け入れられない」と述べた。また、第2・四半期GDP伸び率は4%を上回る見通しで、通年でも目標の4%を上回る見込みだと語った。

②ECBが単一監督メカニズム（SSM）についての四半期報告で、9月下旬から銀行資産の質査定の一部または暫定的結果をユーロ圏の銀行に伝え、監督当局としての対話を持つことを明らかにした。報告書によると、「会合はECB主導で行い、査定の最重要要素と個々の結果を左右する主たる要因について銀行と監督当局の相互理解に不可欠な対話の場とする」ものの「銀行の自己資本比率に対する最終的な影響全てには触れない。同会合ではどの銀行にも、総合的な結果について確実に伝えることはしない」という。

《ここまでの動き》

米ドル円, 10分足, #100



(出所: ネットダニアー & ブルームバーグ)

- ①米長期金利の上昇基調を受けてドル買い・円売りが優勢となったものの、やや上値の重い動きも見られた。
- ②ISM 非製造業総合指数が 2005 年 12 月以来約 8 年半ぶりの高水準となったことや、米製造業受注が市場予想を上回る結果となったことを好感してドルが主要通貨に対して堅調な動きとなった。
- ③ポーランド外相が、ロシアのウクライナへの侵攻の可能性を指摘したことを受けて、ウクライナ情勢の緊張が高まり、リスク回避の動きから株価が急落（ダウ平均株価は前日比 199 ドル安まで下落）となり、安全資産とされる円が主要通貨に対して買われ、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。

3 : 50

NY 金は、中心限月が前日比 3.60 ドル安の 1 オンス=1285.30 ドルで取引を終了した。

4 : 50

NY 原油は、中心限月が前日比 0.91 ドル安の 1 バレル=97.38 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1285.30	-3.60
NY 原油	97.38	-0.91

(出所: SBILM)

<< NY 金市場 >>

NY 金は、サービス業関連の米経済指標の改善を受けてドルがユーロなどに対して上昇したため、ドル建てに割高感が出て、売りが優勢となった。



(出所:ブルームバーグ)

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、世界的な供給過剰感が高まる一方、米製油所向けの需要が低迷するとの懸念が広がっていることを受けて、売りが優勢となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16429.47	-139.81	16559.97	16369.55
S&P500 種	1920.21	-18.78	1936.34	1913.77
ナスダック	4352.84	-31.05	4383.02	4333.58

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、中国のサービス業関連の経済指標が不振だったことを受けて、主要株価は売りが先行した。ただ、米経済指標が市場予想を上回る結果となったことを受けて、下げ幅を縮小する動きとなったものの、ウクライナ情勢への懸念が高まったことから、リスク回避の動きが強まり、主要株価は軟調な展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなった。ただ、終盤には、一時前日比で 199 ドル安まで下落したものの、その後は下げ幅を縮小する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	102.58	102.93	102.49
EUR/JPY	137.18	137.55	137.08
GBP/JPY	173.17	173.51	173.01
AUD/JPY	95.43	95.77	95.30
NZD/JPY	86.86	87.48	86.73
EUR/USD	1.3374	1.3390	1.3358
AUD/USD	0.9303	0.9319	0.9292

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が市場予想を上回る結果となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。しかし、その後、ロシアがウクライナ国境近くに軍を集結されているとの指摘を受けて、リスク回避の動きが強まったことから、円が主要通貨に対して上昇となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものと、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。